

養老溪谷ハイク報告

山域房総半島

日程2017/11/2 (Thu)

天気晴れ→曇り

メンバー上荒磯 単独行

ルート養老溪谷 St. →溪谷橋→女ヶ倉→梅ヶ瀬溪谷→日高邸跡→もみじ谷→白鳥神社→大福山展望台→女ヶ倉→宝衛橋→養老溪谷 St.

●はじめに●

高低差が少なく家から近いところにハイキングをということで、紅葉の下見も兼ね養老溪谷ハイクを計画することになった。

計画では大福山の後に梅ヶ瀬溪谷を周って帰る予定であったが、途中の案内矢印を見間違い、結果反対周りのルートになった。

はじめ、家から養老溪谷へは小湊鉄道に乗って電車で行こうとしたが、母に言うと遠回りするの?と笑う。聞くと山道を行けば車だと 20 分で着くと言うので私はママチャリで行くことにした(思った以上の連続坂道により帰りは迎えを呼ぶ)。

●養老溪谷駅～日高邸跡●

養老溪谷駅には、出発してから予定通り 1.5h で到着。小湊鉄道へ乗る観光客らしき人や、養老溪谷を歩くであろう人々がちらほら。小湊鉄道も見ることができた。



早速ハイキングに出かける。ハイキングコース案内を追ったつもりだが一つ先の道を曲がったために宝衛橋ではなく溪谷橋の道にきてしまった。その先で道は繋がるのでそのまま進むと左下には渡るべき宝衛橋が見える。

右側にはきれいな地層が見え始め、ちょっとしたトンネルをくぐり少し進むと大福山と梅ヶ瀬溪谷の分岐点に。ここで間違えて梅ヶ瀬溪谷方面に進むことになる。



溪谷橋から見る宝衛橋と地層

すぐ土道になり、ハイクっぽくなってきた!すると、前に工事をしているおじさんが2名。見ると、たくさんの流木が道を塞いでいる。気をつけてね~と言

われながら問題なく流木の上を歩く。

さらに行くと、沢が見え始めた。途中、釣りをしている人を見つけながら沢沿いを延々と進む。沢を何度も横切ってルートを見つけて行くのだが、これが初心者の私には大変だった。女ヶ倉から日高邸跡まではずっとこんな感じである。



日高邸跡の道にて



獣の足跡と梅ヶ瀬地層

やっと日高邸跡まで 300m という標識に会い、出発から 2h ほどで到着する。ちょうどお昼の時間だったのでここで長めの休憩をとる。でっかい木が 3 本並

び、色づく頃はきれいだろうなあと思いながらここを後にする。



日高邸跡にて

●日高邸跡～大福山展望台●

大福山展望台までは沢を離れ、山道となる。ここで標高を上げるのだがトレーニングにはちょうど良い道で楽しく、秋の風も気持ちが良い。ここまでに3匹のヘビに会う。30分ほどでコンクリート道に出ると標識が見える。白鳥神社が案内されていたので好奇心で行ってみたが、狛犬やお神輿があるだけで景色は見られない。

先ほどの標識に戻り次の目的地である大福山展望台に向かう。そこから養老溪谷駅の方角に1分もしないところに入り口があるからすぐわかる。すると、養老溪谷駅の方から仲睦まじい夫婦が。同じ目的地のようだ。私の方が少し早かったので、お先に展望台にお邪魔する。北は筑波山、南は館山・鴨川、西は富士山、(東は忘れた)というように説明書きがある。残念ながら富士山は木で見えない。次のお客さんがお待ちなので早々に戻ると、この後梅ヶ瀬溪谷に行くようで道を聞かれた。道がわかりにくいので十分に気を付けてと言った。大福山で大福を食べた後、夫婦とも別れて養老溪谷駅に向かう。



北、この先に筑波山があるはず

●大福山展望台～養老溪谷駅●

養老溪谷駅までの道は車も走るコンクリート道なので歩きやすく迷う心配はないが、帰り道こそ油断しがちなので気を引き締める。道なりにトコトコと1hほどで養老溪谷駅に着く。帰りはしっかり宝衛橋を渡る。少しすると大福山でお会いした夫婦が後から到着する。梅ヶ瀬溪谷はやめ、もと来た道に戻って来たようだ。是非またの機会にでも行っていただきたい。



紅葉はこんな具合

●おわりに●

そんなこんなで、初めての単独行で不安だったが無事戻ることができて良かった。普段からお世話になっている T さんから沢沿いの道は気を付けてとご忠告をいただいていたが、やはりその通りで難しかった。しっかり周りを観察して見る目が必要だと今回経験してわかった。これからは活かしていこうと心に思いハイクを終わりにする。

●おまけ●

葉の染まりはやはりまだまだの様子だ。見頃は11月中旬頃から。乞うご期待。

以上、ありがとうございました。